

美山とその暮らし

美山町は京都市から北へ約 50 キロメートル、かつては人里離れた山間部に位置する。由良川流域のいくつもの小さな集落を含む、人口約 3,500 人の町である。観光地として特に注目されているのはかつては一般的で、今も「かやぶきの里」などで住居として利用され続けている伝統的な茅葺き屋根の家屋である。

美山は京都から電車とバスで簡単にアクセスできるようになり、かつてのような人里離れた場所ではなくなっている。自然に近く、持続可能で、地域に根ざした伝統的な生活様式は今も生きている。美山で生産される食材の多くは地元で消費され、自然資源は次世代に引き継がれるように管理され、地域社会では慣習や儀式が守られている。このようなライフスタイルを守りながら、さまざまな体験プログラムを通じて旅行者と共有することに、町の人々は力を注いでいる。

また、伝統的な農業をはじめとする美山の取り組みは、環境に配慮した暮らしの実現に役立っていると評価されている。今や美山町はサステナビリティへの取り組みで国際的に注目されている。2021 年、美山町は文化、伝統、生物多様性を守りながら住民の力を引き出す持続可能な観光を推進する取り組みが評価され、国連世界観光機関（UNWTO）から「ベスト・ツーリズム・ビレッジ」の 1 つに選ばれた。